



東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 無線機器の使用ガイド

2021年 7月 6日

The Tokyo Organising Committee of the Olympic and Paralympic Games

TOKYO 2020

改版履歴

版数	発行日	改訂内容
1.0	2021年7月6日	初版発行

目次

1.はじめに	1
2.日本における電波の使用ルールの遵守	1
3.周波数申請から無線機器を使用できるまでのフロー	1
4.無線機器の使用	2
4.1 無線機器を使用する前の確認事項	2
4.2 使用する場合の留意事項	2
4.3. Wi-Fi 等の無線 LAN 機器の使用	4
5.組織委員会の承認なしに使用できる無線機器	5
6.日本の電波監視	6
7その他	6
東京ビッグサイト(IBC/MPC)、オリンピック選手村/パラリンピック選手村(OLV/PLV)及びユニフォーム&ア krediteーションセンター(UAC)の無線機器検査	6
8.FAQ (Frequently Asked Questions)	7
9.参考	9
9.1 無線機器の検査室の場所と検査期間・サービス提供時間	9
9.2 ベニユー内の検査室までの案内図	15
10.付録 (Appendix)	19

1.はじめに

第32回オリンピック競技大会（2020／東京）及び東京2020パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）が、それぞれ、2021年7月23日～8月8日及び2021年8月24日～9月5日までの間に開催されます。

東京2020大会においては、TV 映像の製作、報道、競技計測、及び大会運営等のために多くの無線機器が使用されることが想定されます。

この無線機器の使用ガイドは、ユーザがベニュー内において、無線機器を最大限利活用するとともに他の無線機器からの混信や干渉を受けずに、または与えないよう使用するために必要な情報や使用に際して留意すべき事項等を周知することを目的として、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）が策定したものです。

2.日本における電波の使用ルールの遵守

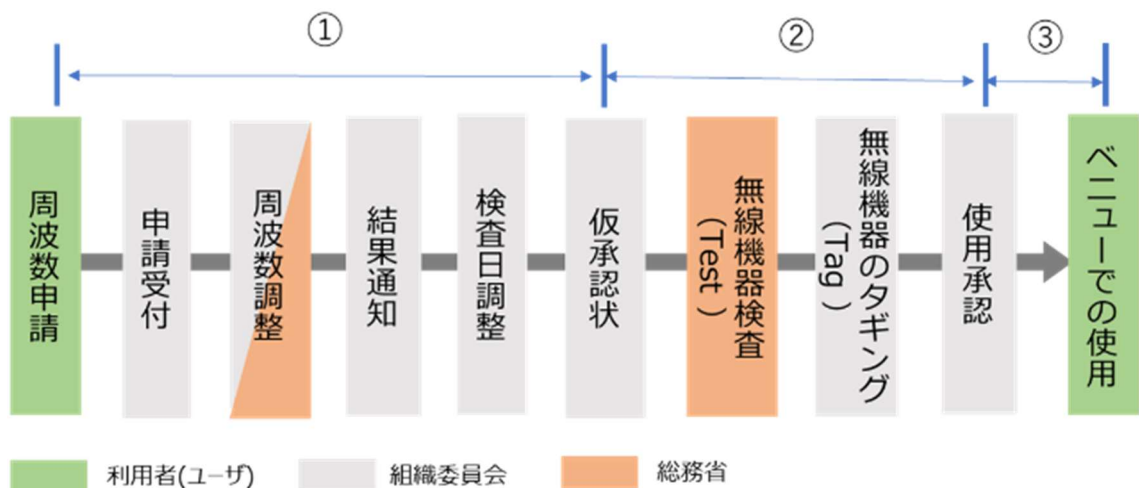
開催地である東京は、日本の政治経済の中心であるため電波は稠密に使用されています。

このため電波を利用する場合、日本の電波法に基づくルールに従って使用していただくことが必須です。電波の利用ルールを守らないと、他の無線通信へ混信や干渉等の妨害を与えるばかりではなく、自己の通信に混信や干渉等の妨害を受けることとなりますので、電波を利用する人が守るべきルールを遵守していただくようお願いします。

3.周波数申請から無線機器を使用できるまでのフロー

無線機器をベニュー内で使用する場合は、日本の無線局免許を取得し、組織委員会の承認が必要となります。この手続きは以下の流れ図に示すとおりです。

- ① 周波数申請～申請受付～周波数調整～結果通知～検査日調整～仮承認状
- ② 仮承認状～無線機器検査～無線機器の免許～無線機器へのタギング～使用承認
- ③ 使用承認～ベニューでの使用



※本書では、上記③の「ベニューでの使用」について説明します。詳しくは4項をご覧ください。

4.無線機器の使用

無線機器をベニュー内で使用する場合は、使用する周波数の承認を受け、無線機器検査に合格し、無線機器にタグが貼付されている必要があります。また、既に日本の無線局免許を取得している無線機器をベニュー内で使用する場合であっても、タグが貼付されている必要があります。

タグが貼付されることによりベニュー内での使用が可能となります。

4.1 無線機器を使用する前の確認事項

東京2020大会において、無線機器等による混信や干渉などを避けるためには、無線機器が技術的基準を満たし、かつ正しく使用される必要があります。このため無線機器を使用する際の必須要件を以下に示しますので厳守してください。

- ① 周波数の使用申請をしてください。

周波数申請の詳細は、下記の周波数申請ガイドを参照ください。

[周波数申請ガイド](#)

<https://tokyo2020.org/ja/organising-committee/environmental-arrangement/>

- ② 検査日程調整後、検査を受けてタグを取得してください。





無線機器検査 & タギング (T&T) に関する問合せ先は以下になります。

[問合せ先: testandtag@tokyo2020.jp](mailto:testandtag@tokyo2020.jp)

4.2 使用する場合の留意事項

無線機器を最大限に利活用し、他の無線機器に対しても混信や干渉を与えないようにするためには、承認された内容に沿って正しく使用する必要があります。このため次に示す事項に留意して使用してください。

- ① 大会期間中の日本国内の確実な連絡先について、検査の予約時に国内連絡先記入票の回答をしてない場合は、仮承認状へ記入して検査時に持参してください。
- ② 日本国内で無線機器を使用するには、事前に日本国政府の無線局免許が必要です。東京2020大会において海外のステークホルダーが使用する無線機器は組織委員会が代わりに無線局免許を取得します。
- ③ 無線機器の使用は、日本国の無線機器検査に合格し、組織委員会が承認したタグが貼付されることにより可能となります。なお、個々の無線機器の使用できる許容条件は、タグにより管理されています。
- ④ 無線機器の使用範囲が特定されたベニューとなっている場合は、そのベニュー以外での使用はできません。
- ⑤ セレモニー期間中は、セレモニータグを貼付していない無線機をオリンピックスタジアムで使用することはできません。ただし、IP 無線など携帯電話回線を使用する無線機器はセレモニータグなしでも使用できます。

タグの種類		オリンピック期間				パラリンピック期間			
		T&T	開会式 (0A-0B含む)	競技期間	閉会式 (0A-0B含む)	T&T	開会式 (0A-0B含む)	競技期間	閉会式 (0A-0B含む)
セレモニー用タグ 		✓							
		✓							
						✓			
一般用タグ 		✓							
		✓							
						✓			
セレモニー用タグ + 一般用タグ  		✓							
		✓							
						✓			

- ⑥ 日本国内での無線機器の使用可能な期間は、タグを交付された日から東京オリンピック競技大会の終了、またはパラリンピック競技大会が終了するまでです。

無線機器に混信を受けた場合は、Call Centre へ、所属、氏名、連絡先、混信発生日時、場所、周波数及び混信状況を申告してください。

テクノロジーコールセンターの連絡先

e-mail: servicedesk@tokyo2020.jp

電話

* English Support : +81-3-6632-2937

[We are recording calls to improve the quality of service for the customers]

* 日本語サポート : +81-3-6631-2020

[対応品質の向上のため、通話録音させていただいております。あらかじめご了承ください。]

- ⑦ 混信等の申告をする際には次の点に注意してください。
- ・原則、周波数申請ではデジタル簡易無線、無線 LAN、RFID、DECT など使用する周波数帯域を共用する無線機器においては「混信容認」を条件として承認しています。混雑している場合には他ユーザの会話が混ざるなど期待どおりの通信ができなくなることがあることを容認していただいているので、これらは混信申告の対象とはなりません。
 - ・無線機器自体の設定、故障等を確認した後に行ってください。
 - ・使用前に無線機器が十分に充電されていることを確認してください。これらの確認を行わないと、正常に動作しないことがありますので注意してください。
- ⑧ 日本国政府及び組織委員会に無線機器の使用停止を求められた場合は、直ちにこれに応じなければなりません。
- ⑨ 大会の運営に障害となる混信を排除するため、日本国政府と組織委員会は、全てのベニューで電波監視施設と取り締まり要員を配置して電波監視と巡回によるスポットチェックを行っています。

- ⑩ 電波法に基づく無線機器の使用手続きを行わないで使用した場合、また、免許の範囲を逸脱して使用した場合は、日本の法律に基づき処罰されますのでルールを遵守してください。（懲役1年以下又は100万円以下の罰金）
- ⑪ 物理的に近い位置にて、近接する周波数帯が同時に使用された場合や、送信と受信のタイミングが重なった場合などに、一時的に正常な通信ができなくなることがあります。これは無線の基本的な特性のため、完全に避けることは困難です。一般的には、一時的に距離を離す、使用するタイミングをずらすなどの方法が有効です。お使いになられる方ご自身にて、ご対応くださいますよう、お願いいたします。
- ⑫ 日本における電波の割当は、非常にひっ迫していることから、混信が発生しやすい状況にあります。このため東京2020大会での無線の使用は真に有線の使用が困難な場合に限ってください。
- ⑬ 送信および受信の周波数が異なる場合は、送信と受信の周波数が許可された周波数に設定されていることを確認してください。
- ⑭ 他のユーザと同じ周波数を共用する場合は、電波を発射する前に、他の使用がないか確認してください。
- ⑮ 日本国内の電源コンセント（Aタイプ）は、交流電源、単相2線式AC100V、50Hz又は60Hzです。この規格に合うように変換器等を用意してください。

4.3. Wi-Fi 等の無線 LAN 機器の使用

東京2020大会において、Wi-Fi 等の無線 LAN（Wi-Fi）機器が使用する周波数は、競技計測・競技運営などの大会運営に重要となる多くのシステムで使用します。干渉などによる大会運営への影響を防止するため、周波数申請で認められた使用場所及び周波数（チャンネル）のみ許可されます。

- ・「モバイル Wi-Fi ルーター」は、ペリメータ内においては特別に許可された固定設置での利用以外はすべて「使用禁止」です。
- ・ パソコンやスマートフォンなどの携帯情報端末機の Wi-Fi 親機機能を使用するアドホック通信、テザリング機能は使用禁止です。

なお、組織委員会は、無線機器検査の際に SSID を確認する場合がありますので承知願います。

5.組織委員会の承認なしに使用できる無線機器

ベニュー内において、組織委員会の承認なしに使用できる無線機器は次のとおりです。

- ① 日本の電気通信事業者によりサービスが提供される携帯電話
- ② 日本の電波法に規定する技術基準に相当する技術基準（国際標準）に適合する携帯電話であって、海外から持ち込んだ者が、国際ローミング又は日本国内の電気通信事業者の SIM カードにより使用するもの
- ③ 日本の電波法に規定する技術基準に適合することが証明された適合表示無線設備[※]である小電力データ通信システムの無線機器の子機（2.4GHz 帯、5.2GHz 帯、5.3GHz 帯及び 5.6GHz 帯の周波数の電波を使用するもの 例：Wi-Fi 又は Bluetooth 等）。ただし、デジタルスチルカメラ本体又はワイヤレスファイルトランスミッターで無線 LAN 親機（アクセスポイント）となる機能を有する場合は、無線 LAN 子機として動作させる場合であっても、組織委員会への申請・承認が必要です。

※日本の電波法で定めている技術基準に適合している無線設備には、下図の「技術基準適合証明」のマークが付されています。



【技術基準適合証明マーク】

- ④ 日本の電波法に規定する技術基準に相当する技術基準（国際標準）に適合する小電力データ通信システムの無線機器子機（2.4GHz 帯、5.2GHz 帯、5.3GHz 帯及び 5.6GHz 帯の周波数の電波を使用するもの）であって、日本に入国してから 90 日を超えない範囲で使用されるもの（例：FCC 認証や CE マークが付され、かつ Wi-Fi Alliance 又は Bluetooth SIG のロゴ等が付されたもの）

【組織委員会の承認が不要な無線機器の一例】



6.日本の電波監視

大会期間中、無線局に対する電波混信が発生した場合は、総務省が電波監視システムなどを駆使し、迅速に電波混信源の位置を特定し、排除することとしています。

現在、総務省は、電波監視システムを整備し、24時間対応体制により、警察・消防無線、航空・海上無線、携帯電話、放送など重要無線通信への妨害対策をはじめとする不法無線局の取締りを実施していますが、さらに、大会期間中は、既存の電波監視システムに加え、競技会場及びその周辺に電波監視システムを新たに導入し監視体制を強化します。

組織委員会においても、ベニュー等において使用される無線機器が混信や干渉等の妨害を受けずに無線機器が最大限利活用できるように総務省の協力を得て電波監視を実施します。

7 その他

東京ビッグサイト(IBC/MPC)、オリンピック選手村/パラリンピック選手村(OLV/PLV)及びユニフォーム&ア krediteーションセンター(UAC)の無線機器検査

新国立競技場及び東京都心から離れているベニュー（合計19ヶ所）については、無線機器検査室をセキュアペリメータ外に設置していますが、IBC/MPC及びOLV/PLVにあっては、セキュアペリメータ内に設置しておりますので、歩行者スクリーニングエリア（PSA）、車両スクリーニングエリア（VSA）を通過後に、UACにあっては無線機器の使用前に速やかに、無線機器検査を受検し、タグを取得してください。

8.FAQ (Frequently Asked Questions)

Q1: 無線機器に周波数使用の許可がされている場合、同様の他の無線機器は検査 & タギングをしないでベニュー内で使用できますか。

A1: 検査 & タギングで承認を受けない無線機器は、ベニューへの持込と使用することはできません。無線機器1台ごとに検査 & タギングで承認された証としてタグが貼付されます。

Q2: ベニュー内において、携帯電話の回線を使用したバックパックカメラ (ライブ-U/TVU など)を組織委員会の承認なしに使用することはできますか。

A2: 周波数申請及び持込承認手続きは不要です。ただし、会場に入場時の持ち込み検査で未検査機と間違われることがあるため、タグの貼付を勧めます。なお Spectrum Desk でタグを受け取ることが出来ます。

Q3: 本大会会場で無線機器検査を受けずに衛星通信システムの使用はできますか。

A3: 日本国内の電気通信事業者が提供する衛星通信サービスは、日本国の無線機器検査を受けずに使用可能となります。

Q4: 海外から持込んだ無線機器は使用できるのか。

A4: 基本的には海外から持込んだ無線機器を日本国内で使用することはできません。

東京2020大会の運営等で必要がある場合に限り、組織委員会に周波数申請し検査 & タギングで承認されれば、承認された使用場所で使用することができます。

Q5: ベニュー内において、個人で所有する Wi-Fi 機器を海外から持ち込んで使用できますか。

A5: 個人で所有する Wi-Fi 機器においても、アクセスポイント機能を有するものは組織委員会の承認が必要となります。なおアクセスポイント機能を有しない場合は、使用可能です。詳細は、上述の5.③及び④を参照してください。

Q6: Wi-Fi 機器は、使用する周波数帯に制限はありますか。

A6: AP (アクセスポイント機能) となるものを使用する場合は、事前に申請を行い組織委員会の承認を必要とします。

Q7: 東京2020の大会期間中に大会ベニュー内及び付属施設等で無線機器を使用したいのです

ができますか。

A7: 承認された使用場所のみで使用が可能です。大会ベニュー内の指定されたエリア外の使用については、事前に組織委員会の承認を必要とします。

Q8: 周波数申請をしても承認されない無線機器は、どのようなものですか。

A8: 日本の技術基準に適合しない、携帯電話抑止装置、不法パーソナル無線、不法 CB 無線、携帯電話中継装置などの無線機器が該当します。

Q9: 大会期間中に電波監視が実施されますか。

A9: 組織委員会では、東京2020大会とその運営で使用無線システムが混信や妨害がなく、かつ適切な使用が確保されるよう、日本の電波監理の所管官庁である総務省の協力を得て電波監視を実施します。

9. 参考

9.1 無線機器の検査室の場所と検査期間・サービス提供時間

Venue		Service period in 2021		Service period in 2021	
Code	Name	Olympic		Paralympic	
IBC	国際放送センター	6月23日～8月8日(11日を除く)		8月17日～9月5日	
		6月23日～7月10日 7月12日～7月15日	9:00～17:00	8月17日～8月20日 8月29日～9月3日 9月5日	8:30～17:00
		7月16日～7月24日 7月27日～7月29日 8月1日～8月2日 8月5日～8月8日	8:30～21:30	8月21日～8月26日	8:30～20:00
		7月25日～7月26日 7月30日～7月31日 8月3日～8月4日	8:30～23:00	8月27日～8月28日 9月4日	8:30～22:30
MPC	メインプレスセンター	7月1日～8月8日(12日を除く)		8月21日～9月5日	
		7月1日～7月11日 7月13日～7月15日	9:00～17:00	8月21日～8月26日	8:30～20:00
		7月16日～7月24日 7月27日～7月29日 8月1日～8月2日 8月5日～8月8日	8:30～21:30	8月27日～8月28日 9月4日	8:30～22:30
		7月25日～7月26日 7月30日～7月31日 8月3日～8月4日	8:30～23:00	8月29日～9月3日 9月5日	8:30～17:00
OLV PLV	選手村	7月7日～8月8日		8月17日～9月5日	
		7月7日～7月12日	9:00～17:00	8月17日～8月20日 8月29日～9月3日 9月5日	8:30～17:00
		7月13日～7月15日	9:00～21:30		
		7月16日～7月24日 7月27日～7月29日 8月1日～8月2日 8月5日	8:30～21:30	8月21日～8月26日	8:30～20:00
		7月25日～7月26日 7月30日～7月31日 8月3日～8月4日	8:30～23:00	8月27日～8月28日 9月4日	8:30～22:30
		8月6日～8月8日	8:30～17:00		
UAC	ユニフォーム&アカレディ テーションセンター	7月9日～8月8日	9:00～21:00		

Venue		Service period in 2021		Service period in 2021	
Code	Name	Olympic		Paralympic	
OLS	オリンピックスタジアム	6月23日～8月8日		8月17日～9月5日	
		6月23日～7月15日	9:00～17:00	8月17日～8月20日	8:30～17:00
		7月16日～7月24日 7月27日～7月28日	8:30～21:30	8月21日～8月26日	8:30～20:00
		7月25日～7月26日	8:30～23:00	8月27日～8月28日 9月4日	7:30～22:30
		7月29日	8:30～17:00		
		7月30日～7月31日 8月3日～8月4日	7:30～23:00		
		8月1日～8月2日 8月5日	7:30～19:00	8月29日～9月3日	7:30～19:00
		8月6日	7:30～20:00	9月5日	5:00～20:00
		8月7日	15:00～19:00		
		8月8日	16:00～20:00		
EQP	馬事公苑	7月19日～8月7日		8月23日～8月30日	
		7月19日～7月23日 7月26日 7月29日 8月1日 8月5日	9:00～17:00	8月23日～8月25日	9:00～17:00
		7月24日～7月25日 7月27日 8月2日	13:00～17:00	8月26日～8月27日	11:00～15:00
		7月28日	13:30～17:30	8月28日	13:00～17:00
		7月30日	7:00～17:30	8月29日	14:00～18:00
		7月31日	7:00～8:30	8月30日	11:30～15:30
		8月3日～8月4日 8月6日～8月7日	15:00～19:00		
		7月17日～8月7日		8月22日～8月29日	
		7月17日～7月20日 7月23日 8月3日～8月4日	9:00～17:00	8月22日～8月24日	9:00～17:00
7月21日	13:30～20:30	8月25日～8月29日	7:30～20:30		
7月22日	13:00～20:00				
7月24日～7月28日 7月31日	7:30～18:00				
7月29日	7:30～17:00				
7月30日	7:30～16:45				
8月1日	9:00～20:30				
8月2日	9:00～20:00				
8月5日	9:00～13:00				
8月6日～8月7日	10:30～19:30				
MFS	武蔵野の森総合スポーツプラザ	7月17日～8月7日		8月22日～8月29日	
		7月17日～7月20日 7月23日 8月3日～8月4日	9:00～17:00	8月22日～8月24日	9:00～17:00
		7月21日	13:30～20:30	8月25日～8月29日	7:30～20:30
		7月22日	13:00～20:00		
		7月24日～7月28日 7月31日	7:30～18:00		
		7月29日	7:30～17:00		
		7月30日	7:30～16:45		
		8月1日	9:00～20:30		
		8月2日	9:00～20:00		
		8月5日	9:00～13:00		
		8月6日～8月7日	10:30～19:30		

Venue		Service period in 2021		Service period in 2021	
Code	Name	Olympic		Paralympic	
SOP	札幌大通公園	7月31日～8月8日			
		7月31日～8月4日	9:00～17:00		
		8月5日	12:30～16:30		
		8月6日	4:00～16:45		
		8月7日	5:30～16:45		
		8月8日	5:30～7:00		
MMA	幕張メッセAホール	7月19日～8月7日		8月22日～9月5日	
		7月19日～7月23日	9:00～17:00	8月22日～8月24日	9:00～17:00
		7月24日～7月27日	7:30～19:00	8月25日～8月26日	7:30～17:30
		7月28日～8月6日	7:30～18:30	8月27日 8月29日	7:00～18:30
		8月7日	14:30～19:00	8月28日 8月30日～9月3日	7:30～18:30
				9月4日	7:30～17:00
				9月5日	7:30～10:00
TSB	内ヶ崎海岸サーフィンビーチ	7月20日～7月28日			
		7月20日～7月24日	9:00～17:00		
		7月25日～7月27日	5:30～16:45		
		7月28日	6:30～8:00		
SSA	さいたまスーパーアリーナ	7月20日～8月8日			
		7月20日～7月24日	9:00～17:00		
		7月25日～8月4日	7:30～21:00		
		8月5日	9:00～20:00		
		8月6日	9:30～20:00		
		8月7日	7:30～20:00		
		8月8日	7:30～11:30		
ASR	陸上自衛隊朝霞訓練場	7月19日～8月2日		8月27日～9月5日	
		7月19日～7月23日	9:00～17:00	8月27日～8月29日	9:00～17:00
		7月24日 8月1日	7:00～16:45	8月30日 9月2日	7:00～16:45
		7月25日～7月31日	7:30～16:45	8月31日～9月1日 9月3日～9月4日	7:30～16:45
		8月2日	7:00～8:30	9月5日	7:30～9:30

Venue		Service period in 2021		Service period in 2021			
Code	Name	Olympic		Paralympic			
KCC	霞が関カンツリー倶楽部	7月24日～8月7日					
		7月24日～7月28日 8月2日～8月3日	9:00～17:00				
		7月29日～7月31日 8月4日～8月6日	6:00～16:45				
		8月1日 8月7日	6:00～7:30				
EYH	江の島ヨットハーバー	7月20日～8月4日					
		7月20日～7月24日	9:00～17:00				
		7月25日～8月2日	8:00～12:00				
		8月3日～8月4日	10:30～14:30				
IVD	伊豆ペロドローム	7月21日～8月8日(7/28除く)		8月22日～8月28日			
		7月21日～7月25日 7月29日～8月1日	9:00～17:00	8月22日～8月24日	9:00～17:00		
		7月26日～7月27日	11:00～15:00	8月25日～8月27日	7:30～16:45		
		8月2日～8月7日	11:30～15:30	8月28日	7:30～10:00		
		8月8日	7:30～10:00				
FSW	富士スピードウェイ	7月19日～7月28日		8月28日～9月3日			
		7月19日～7月23日 7月26日～7月27日	9:00～17:00	8月28日～8月30日	9:00～17:00		
		7月24日	7:30～11:00	8月31日	6:30～16:45		
		7月25日	9:00～13:00	9月1日～9月2日	7:30～16:45		
		7月28日	7:30～14:00	9月3日	7:30～9:30		
FAS	福島あづま球場	7月16日～7月28日					
		7月16日～7月20日 7月23日～7月27日	9:00～17:00				
		7月21日	7:30～16:45				
		7月22日	7:30～9:00				
		7月28日	8:00～12:00				
YBS	横浜スタジアム	7月19日～8月7日					
		7月19日～7月23日 7月28日 8月6日	9:00～17:00				
		7月24日～7月26日	7:30～20:00				
		7月27日	9:00～20:00				
		7月29日 8月3日 8月5日	15:00～19:00				
		7月30日～8月2日 8月4日 8月7日	8:00～19:00				

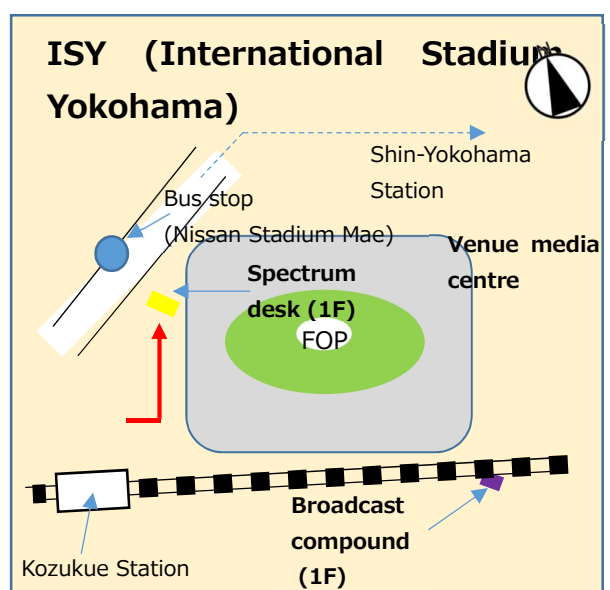
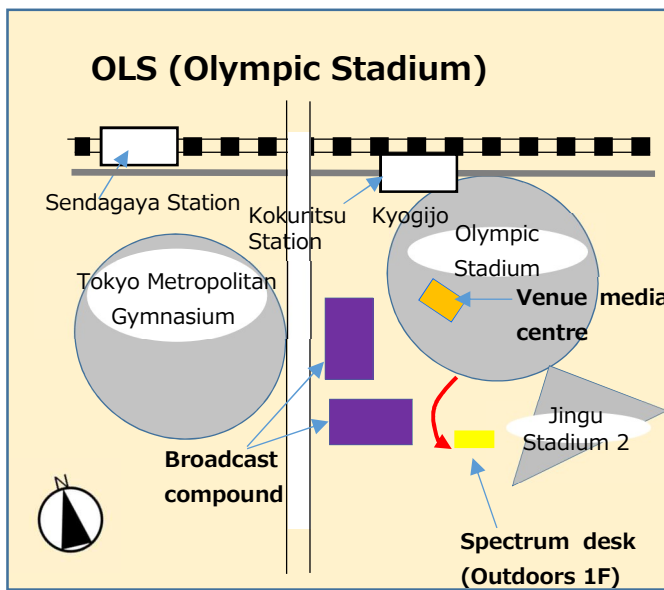
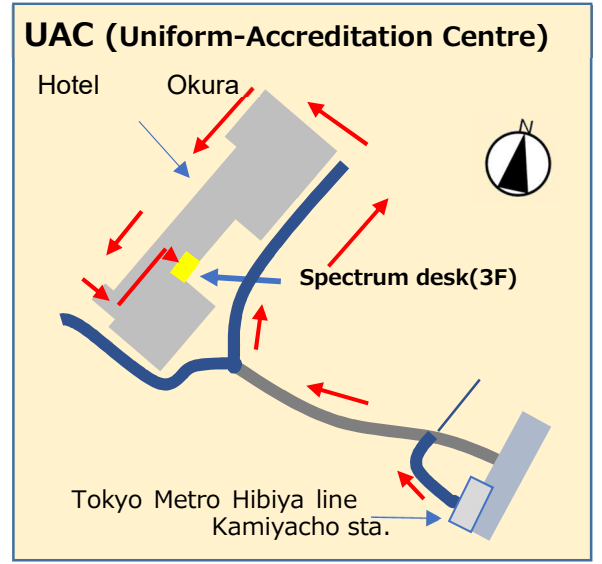
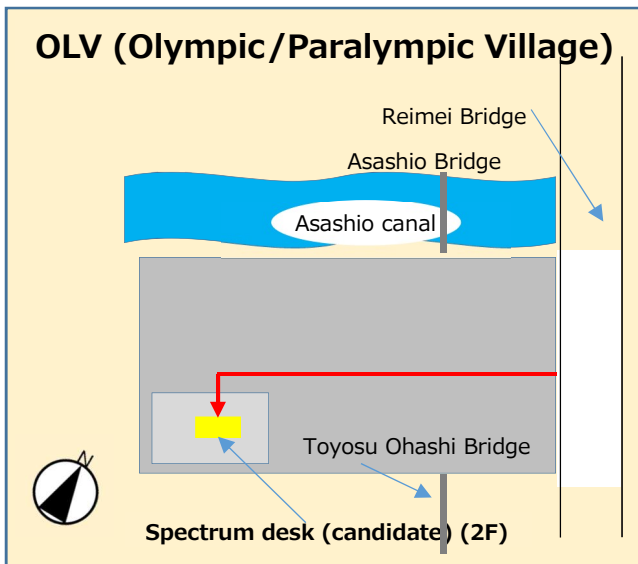
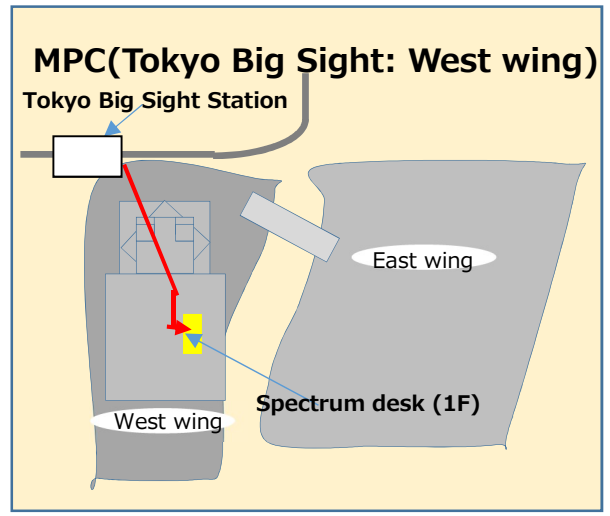
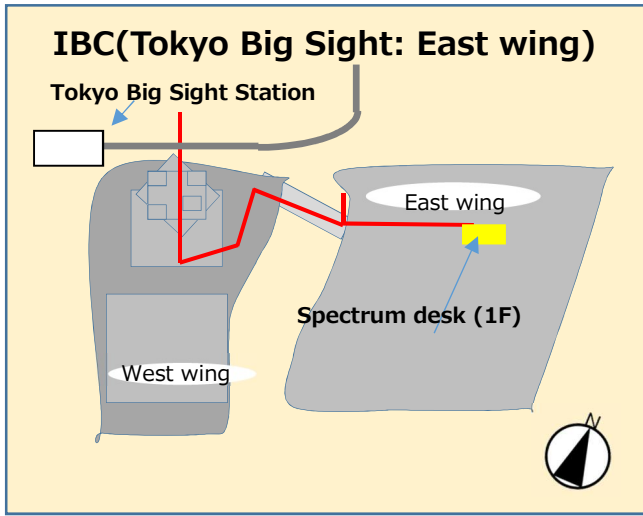
Venue		Service period in 2021		Service period in 2021
Code	Name	Olympic		Paralympic
SDO	札幌ドーム	7月17日～7月28日		
		7月17日～7月20日	9:00～17:00	
		7月23日		
		7月26日～7月27日	12:30～19:30	
		7月21日～7月22日		
7月24日～7月25日				
	7月28日	13:30～20:30		
MIS	宮城スタジアム	7月17日～7月31日		
		7月17日～7月20日	9:00～17:00	
		7月22日～7月23日		
		7月25日～7月26日		
		7月29日	13:00～20:00	
		7月21日		
		7月24日		
7月27日～7月28日				
	7月30日～7月31日	13:00～17:00		
IKS	茨城カシマスタジアム	7月18日～8月5日		
		7月18日～7月21日	9:00～17:00	
		7月23日～7月24日		
		7月26日		
		7月28日～7月29日		
		8月1日		
		8月4日	13:00～20:00	
		7月22日		
		7月25日		
		7月27日		
	7月30日～7月31日	14:00～18:00		
	8月2日～8月3日	13:00～17:00		
8月5日				
SAS	埼玉スタジアム2002	7月20日～8月6日		
		7月20日～7月23日	9:00～17:00	
		7月26日		
		7月29日		
		8月1日～8月2日		
		8月4日～8月5日		
			7月24日	13:30～20:30
			7月25日	13:00～20:00
		7月28日		
			7月27日	16:30～20:30
	7月30日～7月31日	15:00～19:00		
	8月3日	16:00～20:00		
8月6日				

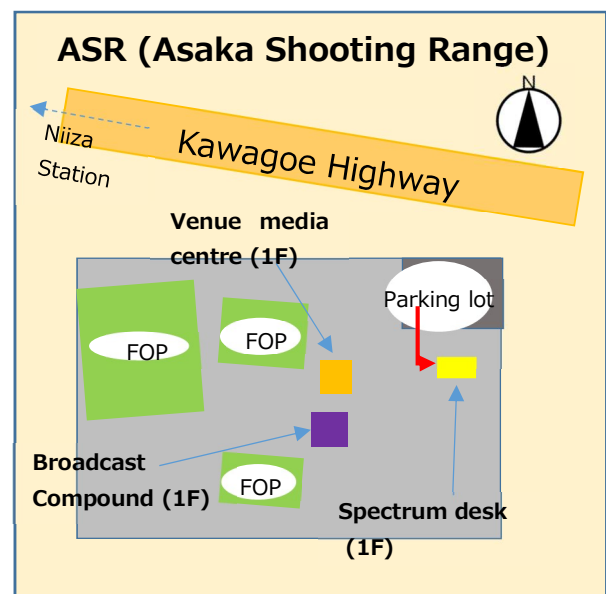
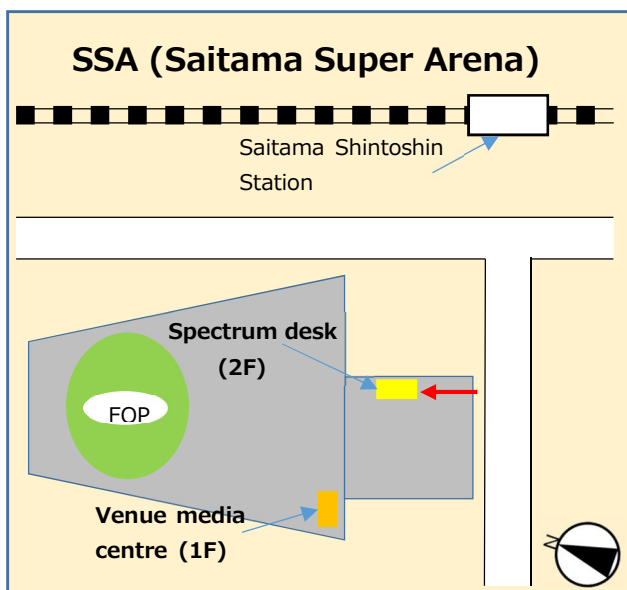
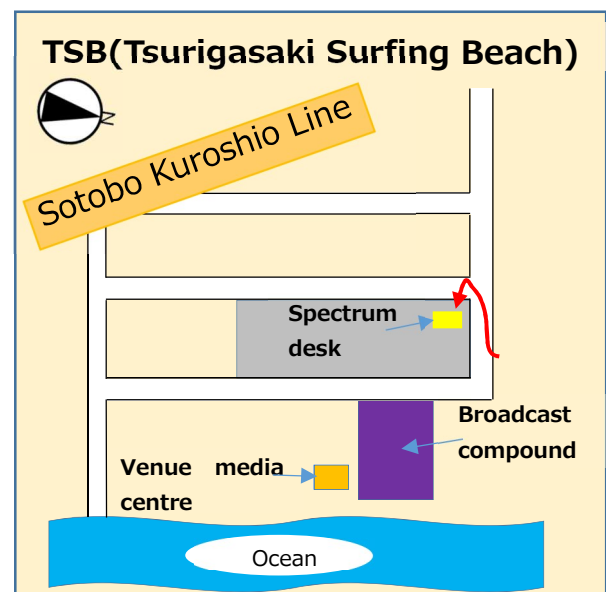
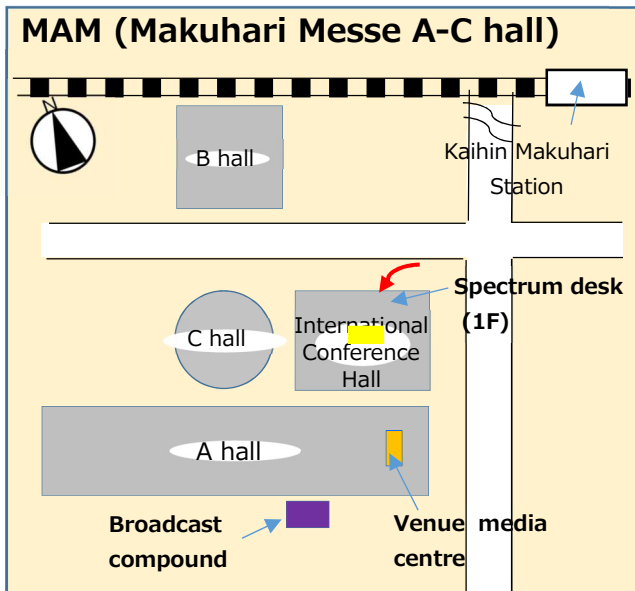
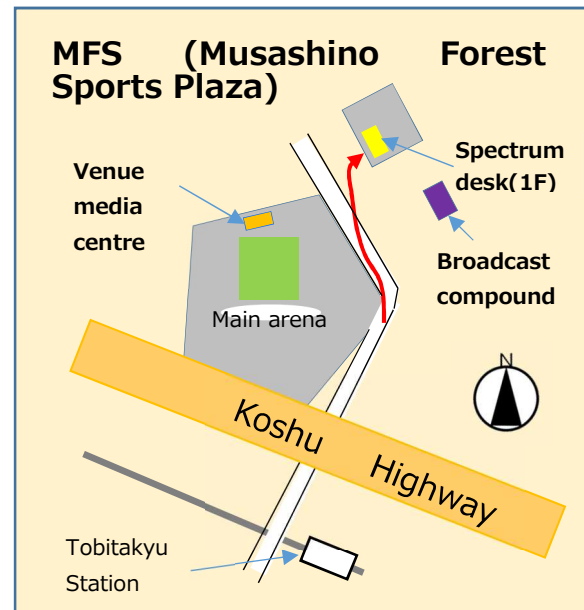
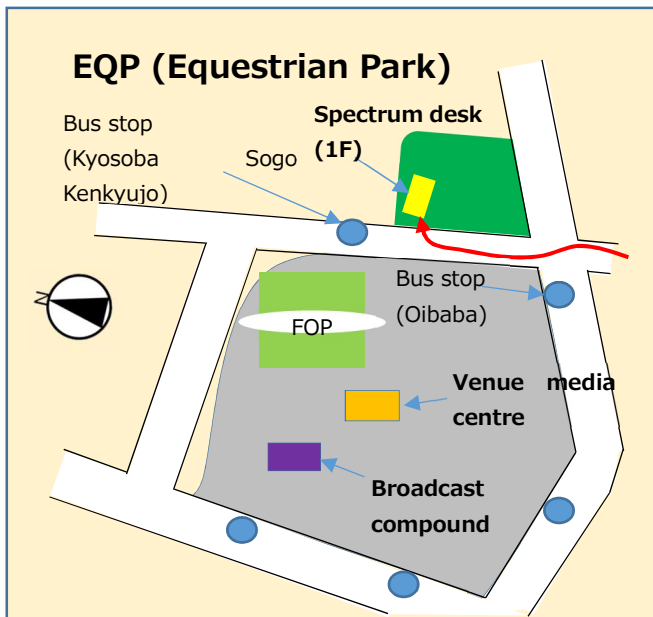
Venue		Service period in 2021		Service period in 2021
Code	Name	Olympic		Paralympic
ISY	横浜国際総合競技場	7月18日～8月7日		
		7月18日～7月21日	9:00～17:00	
		7月23日～7月24日		
		7月26日		
		7月29日		
		8月1日		
		8月3日～8月6日		
		7月22日	13:30～20:30	
		7月25日		
		7月28日		
7月27日	16:30～20:30			
8月7日				
7月30日～7月31日	16:00～20:00			
8月2日				

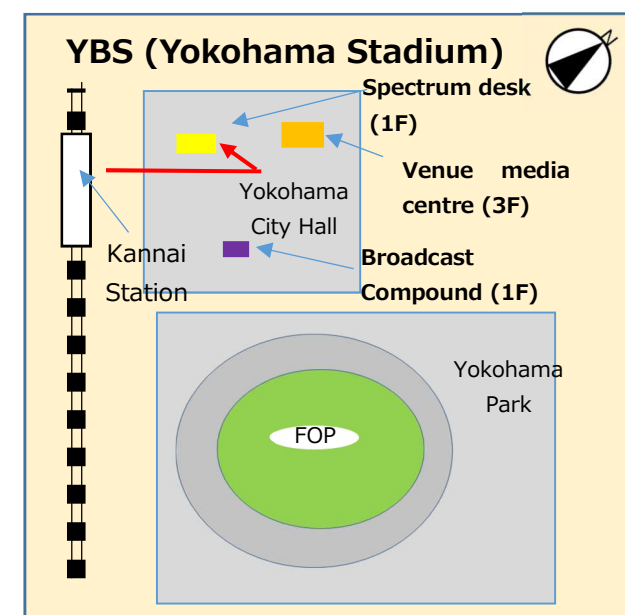
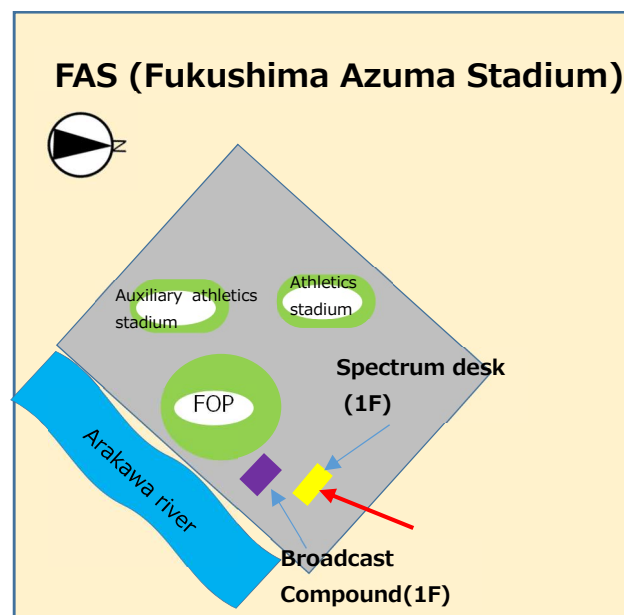
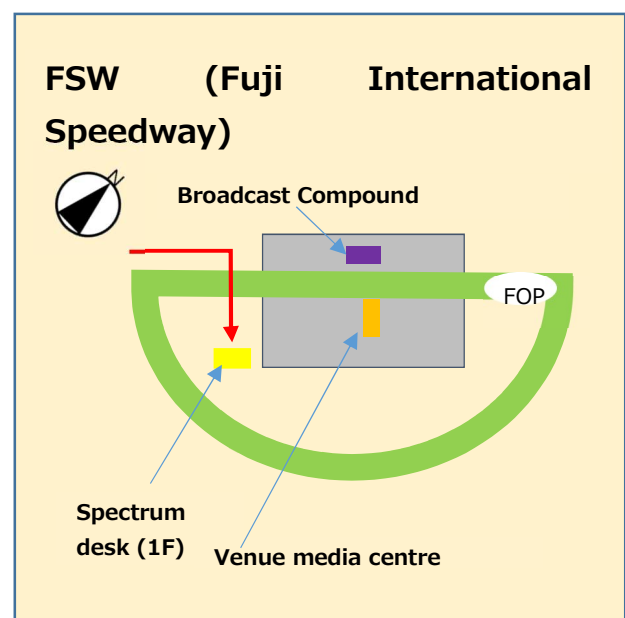
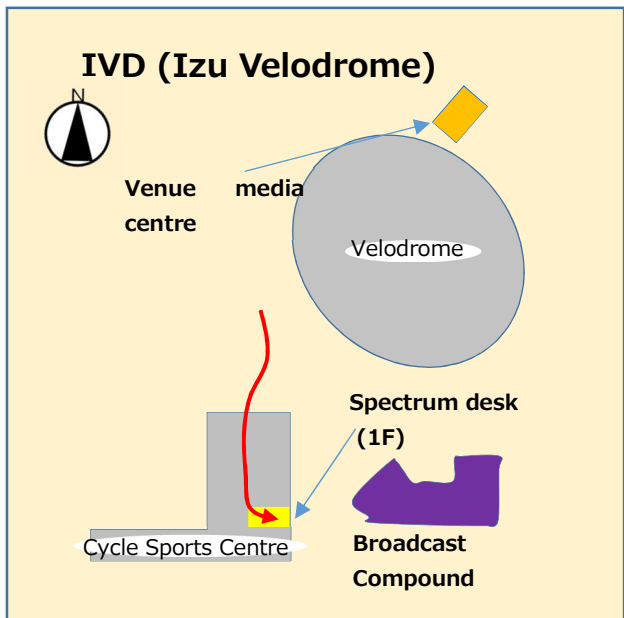
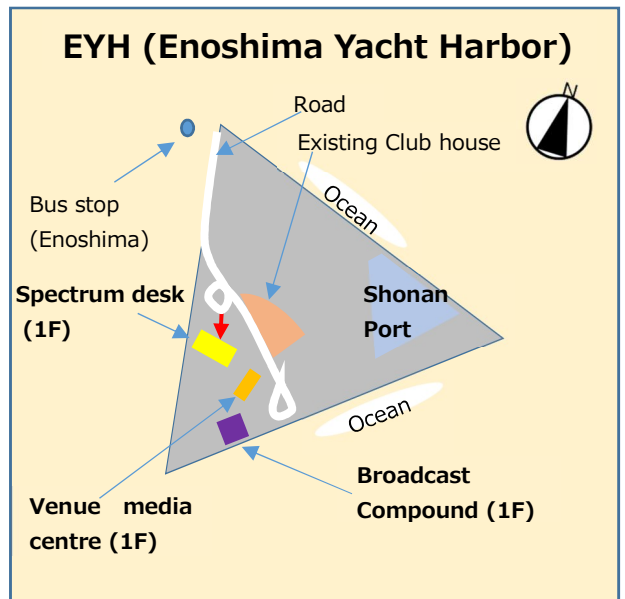
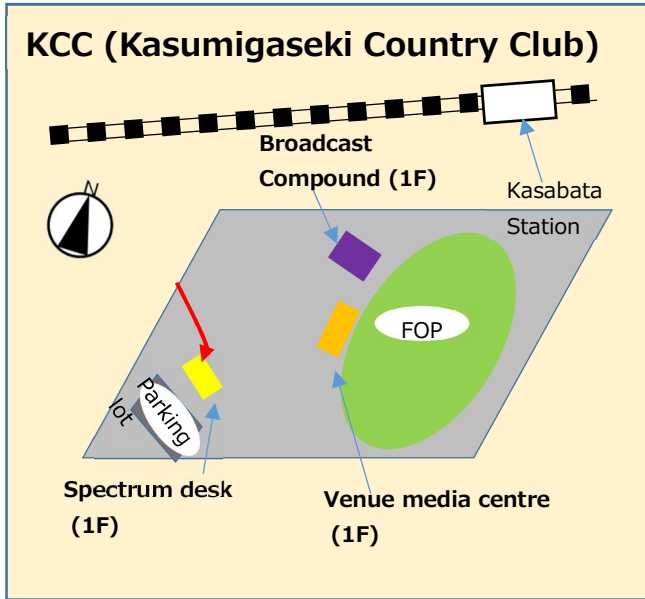
9.2 ベニユー内の検査室までの案内図

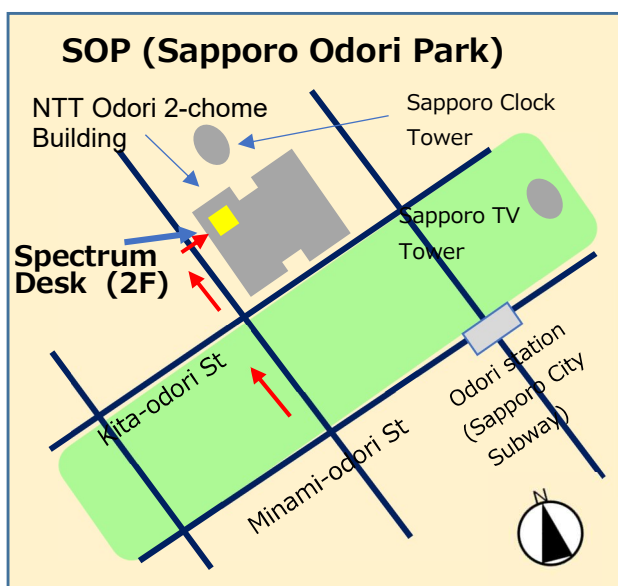
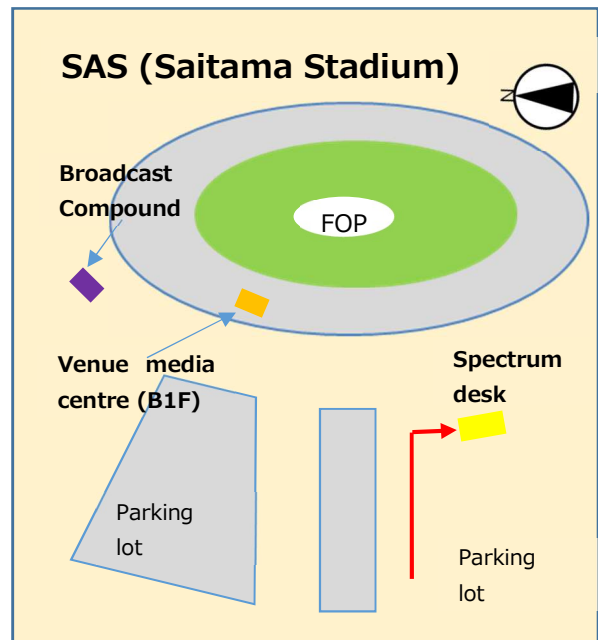
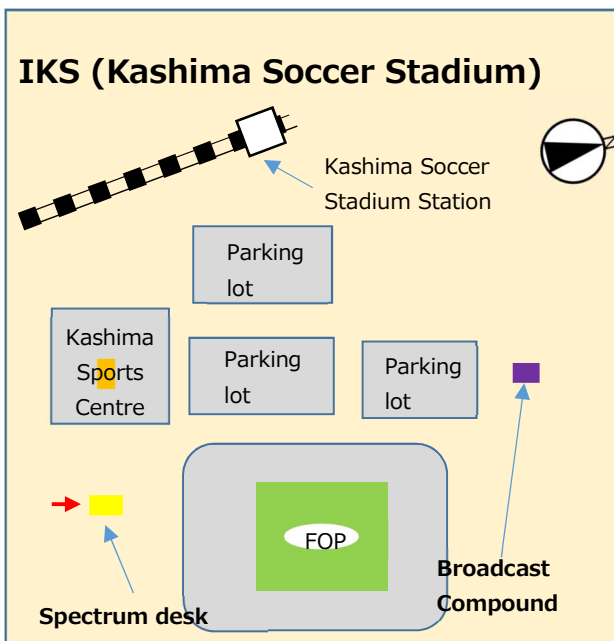
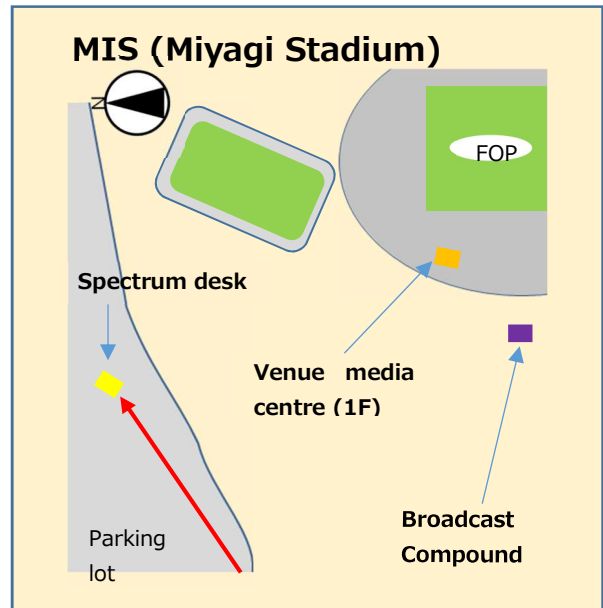
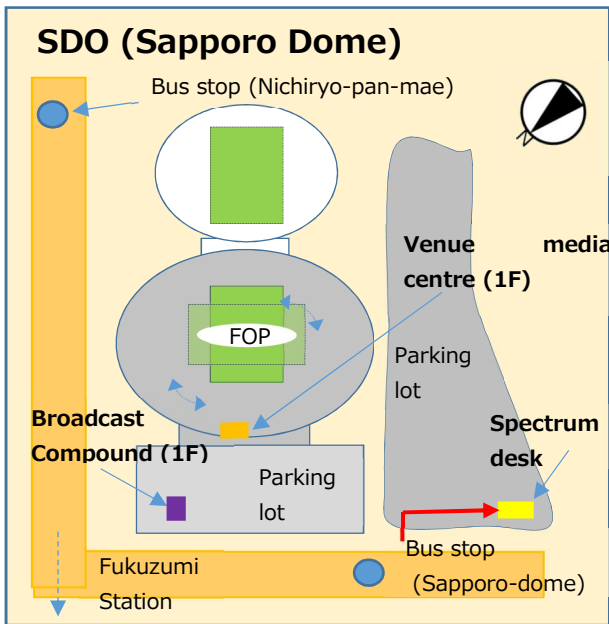
案内図は変更になる場合がありますのでご注意ください。

→ : Route to Spectrum desk









10.付録 (Appendix)

無線設備の設置における注意事項

東京2020大会において競技会場及び関係施設に設置される無線設備は、日本の電波法及び国際基準に適合し、かつ、承認された電波で運用しなければならない。

無線ユーザは、東京2020組織委員会の指導に従い、全ての無線ユーザと協力し、有害な干渉のない電波環境を維持するための対策を実施しなければならない。

ただし、無線干渉電波を除去するためのフィルターの設置に要する経費は、ユーザ負担になりますのでご理解とご協力をお願いします。

無線通信システムの有害な干渉を最小限に抑え、システムの効果を最大限に高めるために、以下の事項を遵守することをお願いします。

- ・無線機器とアンテナは、整合がとれていること。

無線機器に接続される固定するアンテナにあっては、十分なスペースが確保されず、複数のアンテナが設置されている場合、相互作用により、電波干渉の原因になる場合がありますので、可能なかぎり、アンテナ相互間の距離をとり、取り付ける位置にご注意ください。

- ・使用している無線機器の近傍に、隣接周波数の無線機器が利用された場合、通信の受信時に受信機の感度抑圧効果により受信ができない現象が生じますので、無線ユーザ間の適切な距離をとって運用してください。

- ・多くの無線ユーザが無線機器を使用した場合、受信設備の非直線性特性により、使用周波数が利用できない相互変調が生ずる場合があります。この場合は、無線機器にバンドパスフィルター又はノッチフィルターの挿入により、この現象を排除することができます。

- ・携帯基地局の近傍の設置にあっては、基地局の通信トラフィックが高い場合、基地局の輻射電波が増大しますので、自局への受信に干渉が生じる場合は、この影響を軽減するためのフィルターの挿入をお勧めします。

- ・過去大会の有害な干渉の主な原因は、承認された指定周波数以外の誤った周波数又はオフセット周波数によるものです。必ず指定された周波数で運用してください。

- ・承認された空中線電力を超えた電力での運用は、有害な干渉の原因になる場合があります。ご利用の機器が承認された電力以下であることを確認してください。

なお、空中線電力は、通信に必要とする最小の電力で運用してください。より多くの無線ユーザが無線を利用することができます。

- ・ワイヤレスマイクの利用にあっては、2台以上のマイクが1メートル未満の距離にある場合、相互変調積に電波干渉を生成する可能性が高くなります。複数の機器の同時利用は、運用の工夫により回避してください。

以上